

5 総務第 94 号
平成 25 年 4 月 9 日

近畿中部防衛局長
及 川 博 之 様

京丹後市副市長 大 村 隆

米軍 T P Y - 2 レーダー (X バンド ・ レーダー) の配備について (照会)

標記のことについて、去る 2 月 2 6 日及び同日以降、本市に対し配備候補地としてのご説明等を承っているところですが、今後、本市としての十全な理解並びに本市市民及び関係者への説明等において必要であるので、別紙の事項についてすみやかにご回答をお願いします。

なお、今後、必要に応じ追加してご質問等を行う場合があることを申し添えます。

(別 紙)

1 (電波自体の) 健康への影響について

「人体への健康被害はない」というご説明ですが、

- ① 万一、人が直接照射された場合には、どの程度の時間、距離でどのような影響が発生するのか。施設・設備側に起因して直接照射される事故（例えば何らかの事故で照射角度が海面側に移行した場合など。その場合、操業漁船員等の人体はじめ動植物、自然環境を含め影響を想定）が万一発生するリスクに対する予防策又は発生した場合の対処策はどうか。

電波による刺激効果、細胞レベルで作用する非熱効果など、熱影響以外には影響は考えられないのか。また、台風等苛烈な自然状況等により施設・設備固定面ひいては照射角度に揺れやズレ等が生じるリスクに対する予防策等はあるのか。

- ② レーダーの出力の程度が不明であることに起因する漠然的不安もある。例えば既往の国内レーダーに比べてその程度はどの程度で、なぜその程度では健康影響はないといえるのか。（仮に機密等のゆえに詳答できないとされる場合にあっても、この漠然的不安の根幹は“高速で移動する小物体を何百キロも離れた地点から詳細に捉えるのだから（周辺環境に影響が出かねないほど）極めて高い出力で照射しているのではないか”等の率直な疑問があるので、例えば既往の民生用等の電波の到達距離と出力の関係、その健康影響との関係はじめ推測可能な関連事例を可能な限り援用して、演繹して実態を理解できるように回答を願う。）
- ③ いくら高出力でも電波の影響は照射前方方向（照射面）のみであって、照射面左右及び後方方向など照射周辺への影響は全くないのか。風とか気候状況（気圧等）によって何か熱又は上記①に掲記のような熱以外の電波影響が及ぶことはないのか。
- ④ 将来万一何らかの影響がでるようなことはないのか。国内外の既往の地域の例と考え方等も含めて。仮に将来とも影響がないとしても、そのことを担保・検証するための現実的な措置はあるのか。
- ⑤ 人体以外の農産物や自然環境への影響についての評価も基本的には同上（①～④の回答）と考えてよいか。違う点があれば御教示ください。

2 電波の日常生活への影響について

- ① 「騒音」について、当地域は車力通信所の場合とは異なりレーダー配備予定地点から数百メートルの距離に民家が多数立地しているため、特に夜間

道路整備への取組みはどうか。決してあってはならないが万々の事件（想定外の事件）が発生しないための警備等の万全な対策はどうか。また、交通量の増加に日常的に円滑に対処し、又は決してあってはならない事件が万々発生した場合の致命的なリスクを回避し安全・安心へのバックアップを万全に備えておくためにも、最低限、本地域と地域外・都市部との広域的な基幹交通網を早期に整備しておくことが重要不可欠であるが、どう対処するのか。

- ⑦ 基地施設内の危険物（発電用燃料等）の貯蔵・取扱いの対応はどうか。許認可等について国内法は適用されるのか、そうでない場合の安全の法制や対策はどうか。
- ⑧ 将来、国内外の情勢等の大きな変化により仮にも基地を撤収される事情が生じた場合に、以後の土地利用等への影響や負担についてはどのように対処を想定されるのか。

4 米軍人・軍属の居住について

- ① 民間企業の軍属関係者を含め最大160名程度配属されるとお聞きするが、どの段階で確定するのか。年単位程度で規模が変化するのか。また、家族同伴で居住されるケースはどの程度か。
- ② 居住場所はどこを予定しているのか。地域にご相談があるのか。
- ③ 子供がおられる場合は学校・保育所への通学・送迎支援、加配職員等が必要な場合も想定されるが、特別な費用負担はあるのか。
- ④ 交通事故や事件等、治安の確保への懸念が現状、完全には払しょくされないが、どう万全に対応するのか。日米地位協定の適用により逮捕事案が万一にも疎かになったり、このため犯罪予防に影響が出たりすることはないのか。研修・教育等の実施やトラブル等連絡所又は交番等の設置等はどうか考えているのか。
- ⑤ 新規住民、既存の地域住民に対応できる医療環境の一層の整備が課題となるが、医師、看護師等医療スタッフの積極的な確保等に向けた対応はどうか。
- ⑥ 米軍人・軍属の地域行事等への参加等地域や地域住民との積極的な交流が大切であるが、そのあり方はどうか。

5 レーダーの対撃安全性等について

- ① レーダーサイトへの不審者等の侵入を防ぐための常日頃の海上及び基地周辺の警備体制は万全なのか。なお、付近には猿の出没が多発しているが、侵入保全対策はどうか。

- ② 「攻撃の可能性が高まるものとは考えられない」ということだが、一方で、迎撃に重要な意味のある施設・設備でありそのこと自体からは攻撃を受けるリスクは否定できないと考えられるが、なぜ現在以上に“可能性が高まるものとは考えられない”のであるのか。また、関連して、「攻撃の抑止力が高まる」とのご説明だが、なぜか。できる限り詳しくご回答を願う。
- さらに、決してあってはならないことだが万々一攻撃があった場合には、住民の安全に影響ないようどう万全に対処されるのか。